

日本骨髓バンクの現状
(2003年5月末現在)



ホームページ | <http://www.jmdp.or.jp/>

contents

INTERVIEW 骨髓移植を受けた三澤仁平さん、骨髓提供した鈴木ゆみ子さん
支援イベントの報告とお知らせ

「さい帯血」と骨髓バンク

日本骨髓バンクの現状/SARSに関するお知らせ

坂口厚生労働大臣のメッセージ/募金のお礼とお祝い

唐沢寿明、骨髓バンクを応援します! 有名タレントの皆さんによる、ネットオークションが開催



唐沢 寿明

骨髓バンクは日ごろから、さまざまな方々の、さまざまな方法によるご支援をいただいています。そのひとつが、ネットでのチャリティーオークション。2001年には大手芸能プロダクション・研音グループによるネットオークションが行われ反響を呼びましたが、今年から夏と冬の年2回、定例化されることになりました。
入札期間は7月28日から8月11日まで。収益金は、全額骨髓移植推進財団に寄付されます。

ネットで
**骨髓バンク
チャリティー
マーケット
2003**
ドラマで着た衣装や私物などを年2回ネット上に出品。
収益金を全額寄付。
ホームページ J-PHONE DDIポケット
7/28~8/11まで

収益金の寄付を含

め、この活動が新聞・雑誌な

どに取り上げられた事により、さま

ざまなところで感じた波及効果を大変うれ

しく思いました。白血病と闘っている患者

さんやそのご家族の方々に希望を与え、参

加して下さい方が、少しでも骨髓バン

クに関心をもつ足掛かりになれば

幸いです。

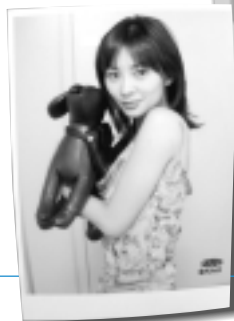
唐沢寿明



反町 隆史



竹野内 豊



伊東 美咲

落札された方には、商品とともにタレントさん直筆サイン入りのポラロイドが送られます。他にも山口 智子さんなど41人のタレントさんが今回のオークションに出品。

オークションに
参加するには

オークションはサイト上のみで行われます。未登録の方は会員登録が必要。品物によっては携帯、PHSでしか入札できない物もあります。

- 1 ホームページで見る(無料)
<http://www.ken-on.co.jp>
- 2 J-PHONEで見る(300円/月)
メインメニュー▶エンターテインメント▶
タレント・アーティスト▶研音▶J-Messege
- 3 DDIポケットで見る(300円/月)
メニューリスト▶芸能▶研音▶H-Messege

骨髄移植を受けた

三澤仁平さん

リスクをはらんだ移植が、化学療法の続行か、2つの選択肢の間で揺れた20歳の三澤さん。移植を決意させたのは「俺って運がいいから上手くいくかも」という楽観と医師の「すごい笑顔」でした。移植から5年目の今を伺います。

「いろいろと制限された入院生活のなかで、思いつきり勉強したい！」と、思いました。



発病から移植まで

18歳で浪人中でした。予備校に通っていたのですが学校まで行けないくらい体調が悪くて、検査したら骨髄異形成症候群という血液の難病でした。治療しながら2月には東北大学を受験して合格。好きな問題が出て、運が良かったんです(笑)。1年の間は何とか大学に通っていたのですが、2年になる前の2月にまた体調が悪くなり、今度は急性リンパ性白血病と診断され、骨髄移植をすすめられました。

その年の秋には移植したので、ドナーの方は結構すんなりと見つかった方だと思います。ただ僕自身の体調が悪くて、寛解に入らず時間

そして大学に復帰

98年の秋に移植して2000年4月に大学2年に戻りました。入院中、いろいろ制限される生活の中で一番思ったのが、「思いつきり勉強したいなあ」ということ。それまではあまり勉強が好きというワケではなかった。だから大学に戻れて、すごく勉強できて楽しかったです。

復学した2年生のときは、大学祭の実行委員をやったり、骨髄移植の講演会の企画をしたり、自分なりに充実した1年を過ごせて、それがその後の自信につながったように思います。

ドナーの方と家族への想い

移植を受けた日を「第2の誕生日」と決めて、ドナーの方に感謝しています。なんだか移植を受けた後、自分が変わった気がします。物怖じしなくなったというのか。それは移植という体験をしたせいなのか、彼(ドナーの方)のDNAが入ってきたからなのか分かりませんが。お酒も強くなったかな(笑)。移植を受けた仲間からはよく、「お酒強くなったよ」という話を聞きますよ。

家族については、父親も母親も物事に動じないタイプだし、兄貴も能天気な男なので(笑)、逆に家族のそういうのほとんどした部分が救いでした。実際に僕がいけない場面ではそうではなかったかもしれないが、よく他の患者さんも言われることですが、「がんばれ」って言われるのは結構キツイことで、「十分がんばってるんだよ、これ以上どうしろって言うの」とカッンとくる。心も病んでいるからちよつとした言葉で傷つくんですね。

これからの骨髄バンク、 これからの自分について

僕も骨髄バンクやさい帯血バンクのボランティア活動をしています。バンクの設立から10年以上たって、いま過渡期にあるのかなと思います。登録会やチャリティコンサートなどのほかにも、新しい企画を打ち出していくときってきているのではないのでしょうか。僕個人としては、骨髄移植の経験をバックグラウンドにした研究やボランティアをこれからも続けていきたいと思っています。



東北大学の卒業式で、学長賞を贈られる三澤さん。卒論が高く評価されたそうです。4月からは東大医学部の健康科学看護学科の研究生として学んでいます。

骨髓提供した

鈴木ゆみ子さん

もともと身体が丈夫だったという鈴木さん。ドナー登録から6年目にやっと実現した待望の骨髓提供は、人生の「大きな転機」に。鈴木さんにとっての「ドナー体験」を伺いました。

1人のドナーとして、自分の身体も人格も大切にしてもらえたことがうれしかった。



最終的にドナーに決定したときは、「やったー！」という感じでした。最終同意してから骨髓採取まで約2カ月あったのですが、お酒を一滴も飲まなかつたんです(笑)。何か1つ決めてその日までやり通したいと思えました。相手の方にそれがどれくらい役に立つかわからなければ、何かしたいという気持ちでした。

その時、家族の反応は

ドナーに決定したとき、母も私と同じように喜ぶと思っていたら、「あ、決まっちゃったの…、どうしましょ」と困ったような反応で意外でした。でも、私は結婚していないので子供はいませんが、自分がドナーになるより、自分の子供がなる方が勇気があるだろうと思います。でも、採取の日、見舞いに来た母が帰ったあと、手紙が置いてあって、「私はゆみ子を誇りに思います」と。病室で1人であるときに発見したので、うるうるっと。いまも手帳に入れて持ち歩いています。

骨髓採取の体験について

採取する当日、先生がふらっと病室にいらして、「緊張してる？」と聞かれて、「まあ」と答えたら、「君の安全だけは必ず守るから、任せてください」と言われたんです。すごいなと思って、万が一のことがある医療行為の中で、「必ず守る」

とか、「任せてください」という言葉は、なかなか言えない言葉なのに。もちろん骨髓液が必要なわけだけど、採取するだけでなく、1人のドナーとして、自分の体も人格も大切にしてもらえたというのは、その後の「経験してよかった」と思えたことの大半を占めている気がします。患者さんから手紙をいただいたときには、もう号泣しました。というのは、採取前に私が出した手紙に「社会貢献できて、夢が叶った」と書いてしまったんです。でも、採取を終え、退院したら社会貢献とはとても思えなかったし、相手の方が命をかけて闘っているのに、「夢が叶った」と書いたこともすごく後悔しました。そう思ってた1カ月たったときにお手紙が届いて、「私が恩返しできるのは、元気になること、そしてあなたのように社会貢献できるようなこと」と同じ言葉を使って書いてあったんです。うれしいと同時にほっとしました。

提供から2年たって、今の想いは

毎年やってくる採取したその日、日本のどこかに私ともう1人、今日だな…と想っている人がいると思うと励みになるし、元気でいてほしいと思う。歯科の仲間たちとの研究会で話をすることがきっかけで、「歯界展望」にドナー体験記が載ったり、採取で終わると思っていたのに、そこから自分の人生が動き始めた感じが。そこから自分の人生が動き始めた感じが。相手の方からの手紙にあった「恩返し」という言葉が心に残っています。私も本当にみんなに恩返ししたい気持ちです。親切にしてください。たまたま自分に向いていて、自分はすごくよい体験だったから、そういう気持ちで少しでもある人には、私の想いを伝えていきたいと思っています。

ドナー登録から決定まで

慢性骨髄性白血病と闘う中堀由希子さんのドキュメンタリー番組を見たことが、ドナー登録のきっかけです。当時は歯科大の学生で忙しかったので「卒業したら登録しよう」と友達と話しました。後日、中堀さんが亡くなったことを知り、手帳を見たらその日は飲み会だったんです。自分より少し若いその女性が亡くなったその夜に、「私は何をやっていったんだろう…。これは登録しなくちゃいけないな」と思って、卒業した年の夏に登録しました。

それから、「いつかはドナーになりたい」と思いつづけました。だから6年近くたって最



幼稚園などで健康教育を行う鈴木さん。「子供たちには夢を叶えてほしい。夢を叶えるならできれば健康な方がいい。そのために自分の歯や身体を自分で大切に。それを子供たちに伝えたいと思います」

実施例が急増し、注目を集めるさい帯血。
骨髄移植との比較と双方の重要性について、専門医である加藤俊一先生に解説していただきました。

「さい帯血」と骨髄バンク

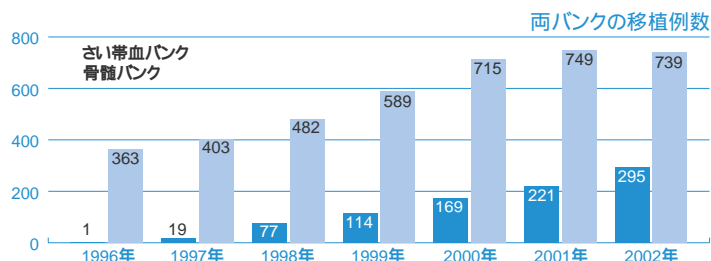
東海大学医学部 加藤俊一

近頃、よくテレビや新聞をとおしてさい帯血バンク(移植)という言葉が聞かれるようになりました。骨髄バンクのドナー登録者の方には、両者の役割などについて疑問をお持ちの方もおられるかと思いますが、そこで、両バンクと移植の現状を紹介したいと思います。

さい帯血バンクと骨髄バンク

実績 骨髄バンクのドナー登録者は17万人に達していますが、最終的なドナー目標数は30万人とされています。一方、さい帯血バンクでは当初2万個のさい帯血保存を目標としてきましたが、より多数の細胞を含むさい帯血を合計4~5万個保存することが第2次目標となっています。

骨髄バンクを介した骨髄移植は、1993年以来4800例以上行われており、近く5000例を超えるものと予想されています。一方、さい帯血バンクを介してのさい帯血移植は1997年以来980例となっており、6月には1000例を超えようとしています。



適合度 非血縁者間骨髄移植においては原則としてドナーと患者のHLA抗原がA B DR合計6抗原とも一致していないと移植はできません。一方、さい帯血移植においては細胞が幼弱であるため、HLA抗原が多少一致していなくても移植が可能で、6抗原中4~6抗原一致していれば良いとされています。

移植まで 患者様にとって、さい帯血バンクの最大の利点はコーディネート期間がないことです。必要な時期に、迅速に移植を行えることが可能です。骨髄バンクにおいては健康なドナーの方に数日間の入院のお願いをして、骨髄採取という医療行為を行うために、本人の自由意思による骨髄の提供、家族の同意、健康の確認などのコーディネートをさせていただくため、移植まで数ヵ月程度の時間を要します。

また、移植細胞の採取方法についても同様のことがいえます。骨髄採取は強い痛みを避けるために全身麻酔をかけて行います。医療行為であるため、事故が起こる可能性が皆無とはいえません。しかし、さい帯血の採取は通常の分娩が終了した後に行われますので、提供する母親にも新生児にも特別な危険性はありません。

移植法の特徴

生着と拒絶 骨髄移植に必要な細胞数は、患者様の体重あたり 2×10^8 /kg以上必要で、通常 3×10^8 /kgを目標としています。ほとんどの場合、必要な細胞数を確保できるため、生着不全あるいは拒絶は数%未満であり、確

移植法の比較

	骨髄移植	さい帯血移植
移植に必要な細胞数	2×10^8 /kg以上	2×10^7 /kg以上
生着速度	速い	遅い(とくに血小板の回復が遅延)
生着不全(拒絶)	数%	10~20%
GVHD	重症化の可能性あり	重症化しにくい
GVL効果	あり(疾患による)	あり?
感染症	多い	非常に多い

実性が骨髄移植の長所であるといえます。

一方、さい帯血移植では採取できる細胞数が少なく、移植後の生着不全の割合が高く、白血病などの悪性腫瘍では10~15%、非腫瘍性疾患の多くでは20~30%程度の生着不全が報告されており、さい帯血移植の最大の欠点となっています。生着に要する期間もさい帯血移植では骨髄移植よりも長く、感染症や出血などの合併症が増加する原因となっています。

しかし、非血縁者間骨髄移植では、移植した骨髄中に含まれるリンパ球によって引き起こされるGVHD がときに重症化し、致命的な経過をたどることがあります。さい帯血移植においては移植されるさい帯血中のリンパ球が未熟であるため、GVHDは重症化することが少なく、たとえ重症化しても致命的にはならないことが多い点が非血縁者間骨髄移植とは対照的です。

なお、GVHDは一方で白血病などの悪性腫瘍細胞の再発を抑制する作用があり、GVL効果と呼ばれています。非血縁者間さい帯血移植と非血縁者間骨髄移植のGVL効果を比較した解析はまだ行われていません。

移植片対宿主病。ドナーの骨髄中に含まれるTリンパ球が生着したあと、リンパ球が患者を非自己と認識し、患者の皮膚・肝臓・腸管などを攻撃して起こる疾患。

感染症 造血幹細胞移植後には様々な感染症が合併しやすい状態が続きます。非血縁者間さい帯血移植では造血回復が遅いことと、移植後のリンパ球の免疫能回復が遅いことなどの理由で、非血縁者間骨髄移植よりも細菌・真菌・ウイルス感染症のいずれもが多くなっています。

移植成績 非血縁者間骨髄移植は10年の歴史と5000例近くの経験があるものの、非血縁者間さい帯血移植はまだ5年で1000例程度の症例数しかありません。また、移植患者の年齢、疾患、移植時期などが異なるため、両者の成績を単純に比較することはできません。小児の急性リンパ性白血病において、両者の成績はほぼ同等ですが、急性骨髄性白血病においては非血縁者間骨髄移植の方が優れています。また再生不良性貧血や先天性代謝異常などの非腫瘍性疾患では生着不全の率が最終的な無病生存率に大きく影響するため、骨髄移植の方が優れています。先天性免疫不全では両者の成績はほぼ同程度であると評価されています。

一方、成人においてはさい帯血移植の成績を論じられるだけの症例数がないため、両者の比較は今後の課題といえます。

以上述べてきましたように、非血縁者間骨髄移植と非血縁者間さい帯血移植にはそれぞれの特徴、長所、短所があります。一般的には、移植まである程度の期間待てるような患者様では生着の確実性が高い骨髄移植が適しており、できるだけ早い時期に移植が必要な患者様には迅速性に優れるさい帯血移植が適しているといえます。安定した好成绩が見込める骨髄移植を必要とする患者様はまだたくさんおられますから、これからも善意のドナーの方々の存在が重要であることに変わりはないといえるでしょう。

日本骨髄バンクの現状

DATA REPORT

日本骨髄バンク事業開始から11年、本年3月末までに日本骨髄バンクを介した移植例が4752例となりました。本年夏にも、5000例に達する見込みです。

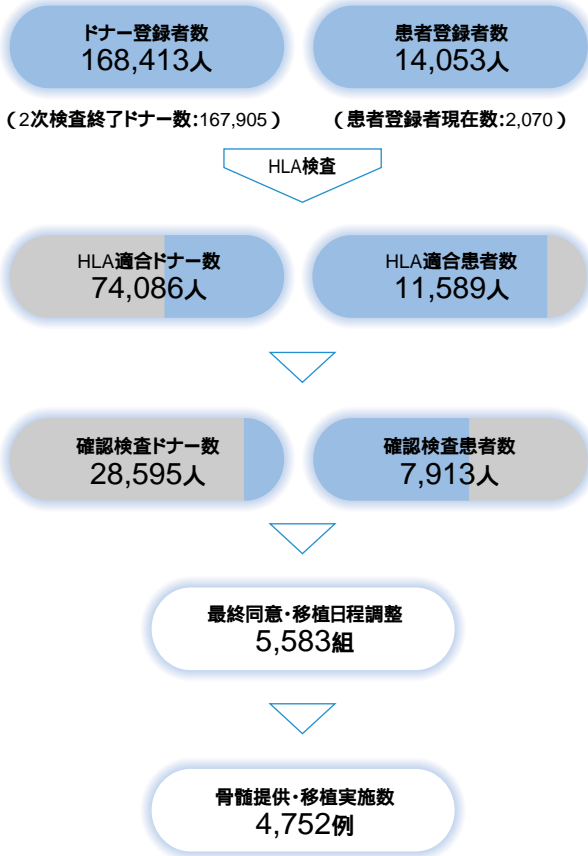
ご提供いただいたドナーのみなさまを始め、骨髄バンク事業にご支援頂いたみなさまに、心から感謝申し上げます。

今号では、ドナーのコーディネーター状況を掲載しました。その他、各種、統計につきましては、ホームページで公開しています。

<http://www.jmdp.or.jp/data/>

1 患者・骨髄提供者(ドナー)のコーディネーター状況

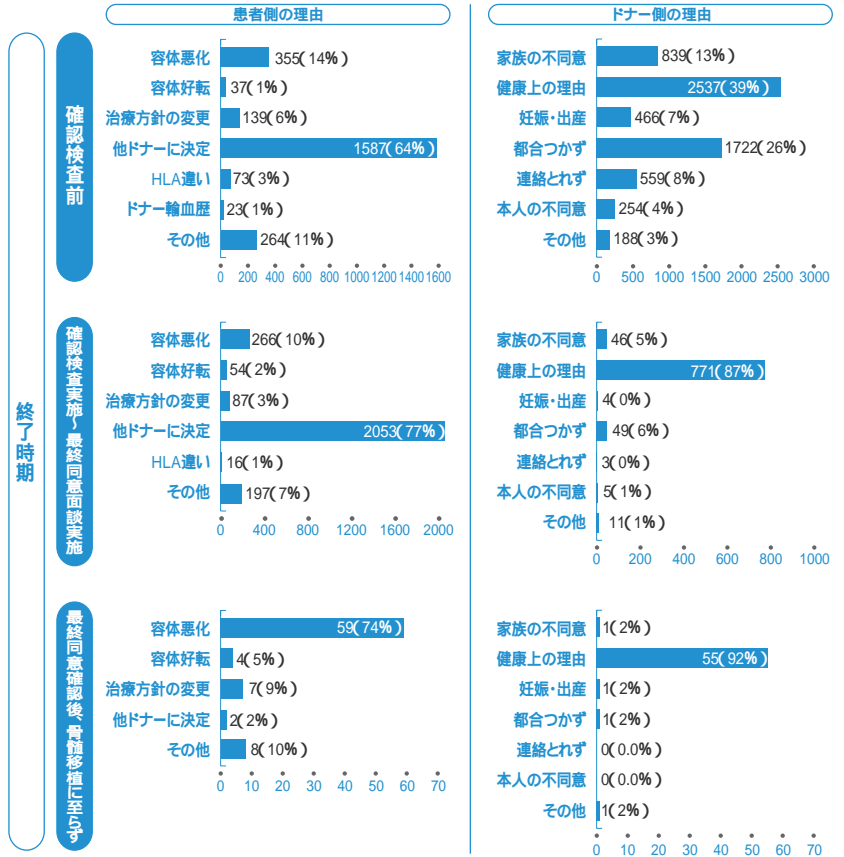
(2002年3月末現在、1992年からの累計数)



患者のHLA適合率は80%、適合患者のうち68%が確認検査に進んでいます。ドナー登録者のHLA適合率は44%、そのうち39%が確認検査に進んでいます。移植・提供はドナー登録者数の3%、患者登録者数の33%、4752件となっています。

2 ドナーコーディネーターの終了理由

(2002年度)



2002年度のドナーコーディネーター終了件数は、総数で12744件でした。

- 患者側の理由で多いのは、HLAのDNAタイピングで、より適合するドナーを選択した結果、他ドナーが自動的に終了する場合と、次いで、残念ながら各段階での病状悪化による終了となっています。
- ドナー側の理由で多いのは、健康上の問題、次いで、都合がつかず、家族の不同意となっています。早めな家族内での話し合いと、特に最終同意後は、健康管理へのご留意をお願いします。

患者さん、ドナー登録者のみなさんへ

SARS [重症急性呼吸器症候群] に関するお知らせ

2003年6月現在、いまだ収束の気配が見えない新型肺炎・SARS。
海外ドナーとのコーディネーターの問題など、骨髄バンクにも影響が出ています。

台湾骨髄バンク(BTCSCC)がSARSのため骨髄採取を停止。ドナーの選定はできません(2003年6月現在)

台湾での感染者増加を受けて、台湾骨髄バンクでは5月1日付で当面のあいだ、骨髄採取を停止することを決定しました。今後の再開を想定し、当該バンクのドナー検索やコーディネーターは可能ですが、現在のところは再開の見通しがたつておらず、ドナーの選定はできません。詳細は骨髄移植推進財団ホームページ「医師宛一斉通知文一覧」でご確認ください。

コーディネーター中のドナー候補者の方へ。渡航の予定がある場合は、事前にお伝えください。

骨髄移植推進財団では、骨髄採取前のドナーの方に海外渡航をできるだけお控えいただくようお願いしているところですが、現在の諸外国や地域における感染症(ウエストナイルウイルス熱などを含む)のまん延状況から、ドナーの方と患者さんの安全性を確保するため、骨髄採取予定日1ヵ月以内の海外渡航は自粛を検討していただくようお願いすることになりました。渡航の予定がある場合は、事前にコーディネーターへお伝えください。

information
20037

夏目雅子さん、7月から 骨髓バンクのCMに登場 公共広告機構新キャンペーン、まもなく開始

公共広告機構の骨髓バンク新キャンペーンが7月からはじまります。今回は夏目雅子さんが登場。ご家族、関係者の方々の特別なご協力により実現しました。

ヨーロッパを旅する夏目雅子さんの映像に、情感豊かな音楽と、俳優・小林薫さんのナレーションが語りかけます。

「あの時、骨髓バンクがあつたなら、

きっとぼくらは46歳の夏目雅子さんに会えたに違いない」「あの時」、そして「いま」ドナーを待っている患者さんのために、視聴者へドナー登録を呼びかけます。

公共広告機構では通常、毎年に取り上げる素材を検討して決定していますが、10年もの長い間骨髓バンクをテーマに取り上げることはとても異例のことです。



information
report
2003926ほか
200352125

みなさんのボランティア精神に 支えられ、今年で5年目に突入 舞台「友情」大阪1カ月公演、秋には関東でも

「友情 Friendship」秋桜のパラードの公演が、5月2日、25日、大阪松竹座（大阪市中央区）で行われました。

主人公あゆみの先生役には一昨年の名古屋公演に続いて2度目の出演となる渡瀬恒彦さん。両親役は永島敏行さんと仁科亜季子さんという豪華キャスト。初夏の大阪にさわやかな感動の風を巻き起こしました。

物語は、白血病の副作用で髪の毛が抜けた少女を励まそうとクラス全員が頭を丸め、温かく迎え入れたというアメリカでの実話に基づいたもの。1999年11月の初演以来、友情出演した俳優・女優さんは60人以上にのぼり、公演に協力した市民ボランティアの数も300名以上。公



オーディションで選ばれた生徒役39名による団結式では、生徒4名が頭髪をそり、丸坊主に。



公演に先立ち、大阪市内のホテルで行われた「友情」の製作発表会。「白血病への関心を高めたい」と先生役の渡瀬恒彦さん。

演回数は260回を超えました。国内各地はもとより、ロサンゼルスでも好評をもって迎えられ、骨髓バンクへの支援の輪を広げています。

秋には関東地区での公演も予定されています。

9月26日(金)~30日(火)
天洲洲アイル・アーツシアター(東京・東品川)
10月1日(水)
横浜市民文化会館 関内ホールS(横浜市中区)
9月24日(水)
水戸市民会館(水戸市中央)
チケット料金
大人/4500円 高校生以下/1800円

問い合わせ先

「愛のチャリティー劇場」実行委員会事務局
☎ 03-5427-1822
☎ 03-5427-1887

関東地区公演ではキャストが変更になります。

information
2003 10 ~ 11

ホセ・カレラス

白血病を克服した歌声、
円熟を増して今秋来日

テノール歌手の第一人者ホセ・カレラス氏が来日。2年ぶり4回目のチャリティーコンサート「ホセ・カレラス テノール・リサイタル いのちのボランティア」(特別協賛・中外製薬)を開催します。

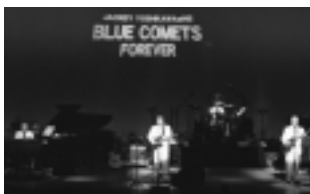
ホセ・カレラス氏は1987年に白血病を発病、骨髄移植によって回復した経験から、自ら「ホセ・カレラス国際白血病財団」を設立。音楽家としての活動とともに、重要なライフワークのひとつとしてこの財団の活動に情熱を捧げ、白血病患者への支援と救済を続けています。コンサートの収益は「ホセ・カレラス国際白血病財団」と当財団に寄付される予定です。

information
2003 7・4
report
2003 5・11

ジャッキー吉川とブルー・コメッツ なつかしい数々のヒット曲で 骨髄バンクと患者さんを支援

ジャッキー吉川とブルー・コメッツによる「日本骨髄バンク&がんの子供を守る会支援チャリティーコンサート」が5月11日、川崎市麻生市民

館ホール(川崎市麻生区)で開催されました。「ブルー・シャトウ」など数々のヒット曲で昭和のグループサウンドスブームの隆盛を築いたブルー・コメ



麻生市民会館ホールのロビーでは、募金やチャリティオークションが行われました。

ひとり個人的に行っていたチャリティー活動に、あるときグループとして参加しました。わたしたちの音楽が皆さんに活力を与え、お役に立つのだという喜びをメンバー全員が

感じました。今回のコンサートも、骨髄バンクのドナー登録者増加と、闘病中の子供たちやご家族へのお力になれば、「とバンドリーダーのジャッキー吉川さん。コンサート中盤、ステージから財団職員が来場者へ骨髄バンクや骨髄移植について説明し、ご協力を呼びかけました。ロビーでは募金活動、ファンクラブ主催によるチャリティーオークションなどが行われました。



10月23日(木) ザ・シンフォニーホール(大阪市北区)	11月8日(土) 札幌コンサートホールKitara (札幌市中央区)
10月26日(日) 横浜みなとみらいホール (横浜市西区)	チケット料金 会場により異なります。 お問い合わせください。
10月29日(水) 愛知県芸術劇場コンサートホール (名古屋市中区)	問い合わせ先 IMGインフォメーションデスク ☎ 03-3403-9003
11月4日(火) サントリーホール(東京・赤坂)	

report
2003 3・22

中井耀くんとお母さん セレッソ大阪開幕戦で ドナー登録を呼びかけ

先天性の代謝異常「ムコ多糖症」のため、骨髄移植を必要としている大阪府豊中市の中井耀くん(4歳)と母親の麻里さん(バンクニュース21号で紹介)が3月22日、長居スタジアム(大阪市東住吉区)で行われたセレッソ大阪開幕戦で骨髄バンクへの協力を訴えました。

セレッソ大阪の骨髄バンク支援活動はすでに5年以上。熱烈なセレッソサポーターが白血病を患い、骨髄移植が必要になったことをきっかけに、折に触れドナー登録の呼びかけや、キャンペーン登録会の開催などにご協力いただいています。耀くんお母さん麻里さんは前半終了後のハーフタイムにピッチに登場。約2

万人のサポーターらに骨髄バンクへの登録を呼びかけました。「このままでは息子は長く生きられません。皆さんのご協力をお願いします」と訴える麻里さんのかたわらで、サッカー観戦は初めてという耀くんは「将来はサッカー選手になりたい」と笑顔で語りました。しかし、ドナーがみつからない耀くんは、少しずつですが病状が確実に進行しています。「選手でなくても、せめてスポーツができるようになれば」と話す麻里さん。二人の思いが叶う日が、一日も早いことを願わずにはいられません。



セレッソ大阪のホーム、長居スタジアムで、ドナー登録を呼びかける中井耀くんとお母さん(写真中央)。

特別メッセージ

移植5000例に寄せて

厚生労働大臣

坂口力



日本骨髄バンクを介した非血縁者間骨髄移植の累計が、間もなく5000例に達すると伺いました。アメリカ骨髄バンクの1万5千例に次ぐ世界第2位の実績とお聞きしております。この数字は、我が国の医療、社会にとって高く評価されるものであります。この間の医療関係者はじめ骨髄バンク関係者のご努力、そしてボランティアの方々のご支援に対し心から敬意を表します。

かつては、不治の病とされていた白血病などの患者さんが、骨髄移植により再び生きるチャンスを得て、多くの方々が社会復帰されていることは素晴らしいことです。また、物質的には豊かになった我が国では、その一方で、他人への思いやり、互いに助け合うという風潮がますます希薄になり、社会問題ともなっている時代にあつて、ドナー登録者の方々は、正に珠玉の存在と思います。

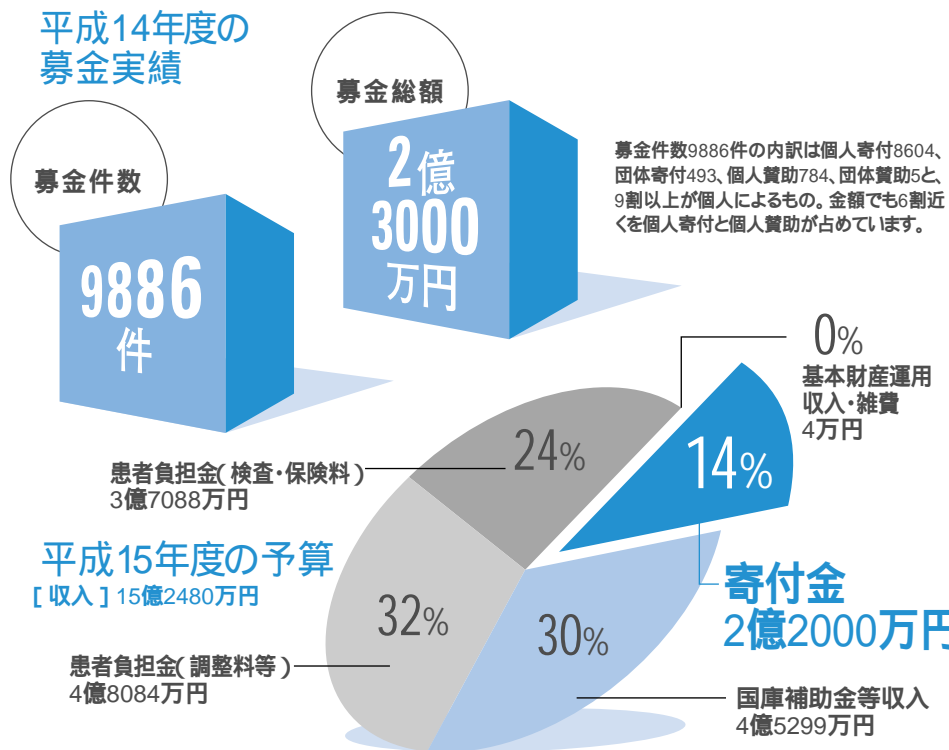
私は、今後とも、骨髄バンク事業体制の一層の整備を図り、さい帯血移植を含めた造血幹細胞移植全体を推進するため努力してまいります。患者、家族の皆さん、どうか希望をもち続けてくださいますようお願い申し上げます。最後に、ドナー登録されている皆さんの健康とご活躍を心から願ってやみません。

平成十五年六月

募金のお礼とお願い

骨髄バンクの運営は、国庫補助金などの公的資金のほか、患者さんの負担金と皆さまからの寄付金によって支えられています。皆さまの寄付金は、主に骨髄バンクの普及啓発のために使われます。国に対しては、国庫補助金の大幅な増額と骨髄バンク事業への医療保険の適用により、患者さんの負担を減らすお願いをしています。

平成14年度の募金実績



皆さまの善意をお寄せください。



郵便振替

本紙に折込の振替用紙で、最寄りの郵便局からお振込みをお願いします(手数料は当財団負担となります)。



銀行振込

☎0120-377-465までお電話ください。みずほ銀行本支店間での手数料が無料になる専用振込用紙をお送りします。

クレジットカード募金



1. お電話で

ご使用になるカードをお手元にご用意のうえ、☎0120-377-465までお名前・ご住所・電話番号・カード会社・カード番号・カードの有効期限・ご寄付の金額をお知らせください。



2. インターネットから

http://www.jmdp.or.jp/help_us/howto.html#internet
NTTコミュニケーションズの電子決済サービス「Livvy(リヴィイ)」を利用したインターネットの決済サービスです。お申し込みいただいた金額をご利用のカード会社の規約に従って、通常のカード利用と同様に口座から振り替えさせていただきます。



3. 骨髄バンク提携クレジットカード

クレジットカードによるお支払い額の0.5%が骨髄バンクに寄付される骨髄バンクサポーターカードは、毎年入会月に、指定された1万円または3000円が自動的に寄付される仕組みも付いています。入会申込書を☎0120-377-465までご請求ください。



日本小型自動車振興会からの補助について

本年度も普及啓発ポスター、パンフレット、リーフレットは「オートレース公益資金」の補助により発行しています。

お問い合わせ・資料請求は

日本骨髄バンク



0120-445-445

<http://www.jmdp.or.jp/>